

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>家庭・地域社会及び関係機関との連携を図り、自ら課題を発見し解決する能力を備えた、未来を切り拓き地域創生に資する水産・海洋のスペシャリストを育成する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>（重点・新規項目）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「京都府教育振興プラン」の推進</li> <li>2 新学習指導要領の円滑な実施</li> <li>3 生徒1人1台学習用端末の円滑な導入</li> <li>4 コミュニティ・スクールの推進と地域創生に資する人材育成</li> <li>5 スクール・ミッションに基づくスクール・ポリシーの策定</li> </ol> </div>	<p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 全職員による一致した指導により生徒が規範意識を重んじ、自律的で調和のとれた高校生活を送っている。</li> <li>2 実践的な教育活動により、マリンマイスター顕彰対象生徒数の定着や生徒研究発表日本海南部地区代表等を始め、全国の水産・海洋高校の学習・研究活動をリードしている。</li> <li>3 生徒の多くが意欲的に資格取得に取り組み、教育長表彰80%該当の他、レベルの高い資格を取得する生徒数が持続している。</li> <li>4 進路について、就職では関連分野を中心に20年連続100%内定、進学では国公立大学（29年連続）、公務員10名合格をはじめ幅広い分野の就職先、大学・専門学校等に合格した。</li> <li>5 ほとんどの生徒が何らかの部活動に加入し、高校生活の充実を努めるとともに、全国大会出場等の実績を重ねている。</li> <li>6 新型コロナウイルス感染予防の取組を通じて新しい生活様式が定着し、保健衛生に係る意識と生活スキルを向上させた。</li> <li>7 生徒会活動並びに図書館活動の充実により、生徒が多様な価値観をもち、学習・研究活動の幅を広げている。</li> <li>8 官津商工会議所との連携協定によるキャリア教育の充実や学校運営協議会による地域の魅力を感じさせる教育活動ができた。</li> <li>9 キャリアプランニング・サポート（小中高連携事業）並びにコラボ推進プログラムにより京都府北部の児童・生徒が参加し、水産業や海洋産業への理解を深めた。</li> </ol> <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新学習指導要領の円滑な実施、評価の充実</li> <li>2 生徒、保護者等、中学生、地域の方等から信頼され、懐れの対象となる魅力ある教員像の確立</li> <li>3 目的意識の高い志願者数確保に繋がる効果的な広報活動実施</li> <li>4 生徒1人1台学習用端末の円滑な導入</li> <li>5 働き方改革の推進等を踏まえた職場改革</li> <li>6 個に応じた指導・進路保障の推進及び指導状況の共有</li> <li>7 下宿・寮・家庭における好ましい生活の支援</li> <li>8 きめ細かな感染症対策と新しい生活様式に基づく教育活動の更新</li> <li>9 ボランティア活動等、コロナ禍以前の特色ある取組の継承</li> <li>10 中期経営目標の具現化</li> </ol>	<p>本年度学校経営の重点（短期経営目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>普通・専門教育の充実と希望進路の実現</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒1人1台教育用端末の活用も踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。</li> <li>(2) 授業（実習）改善と海洋プロジェクトの充実により、進路の選択・決定における自己実現を支援する。</li> <li>(3) 地域人材を活用したキャリア教育や外部機関等とのつながりを充実させることで、何ができるようになるかを展望させ、地域創生に結びつける。</li> <li>(4) 思考力・判断力・表現力の醸成を基に、校内の連携や課題の共有に努めながら、探究活動の質をより向上させる。</li> <li>(5) 読書活動・図書館活動の充実を図る。</li> </ol> </li> <li>2 <b>基本的生活習慣の定着</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒指導の考え方を共有し、一貫した指導体制の確立を図るとともに、それぞれの課題に応じた指導を推進する。</li> <li>(2) 道徳性や規範意識を大切に、状況に応じた行動（ふるまい）ができる人間性を育む。</li> <li>(3) 成年年齢引き下げを踏まえ、社会人としてより一層責任と自覚ある行動を促す。</li> </ol> </li> <li>3 <b>心の育成</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 系統的な人権教育により、生活の中に生かされる指導を行う。</li> <li>(2) 日常的な声かけに努め、成長を確かめ合いながら自己有用感を育むとともに主体的な行動を促すとともに公共心を育成する。</li> <li>(3) 互いの個性や多様性を認め合い、生かしながら共に学ぶ仲間づくりを進める。</li> </ol> </li> <li>4 <b>安心・安全・衛生管理の徹底</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 常に緊張感を持って実習に臨むとともに、点検・確認を怠らず、安全第一を徹底する。</li> <li>(2) 生活全般において法やルールを守り、他者を思いやる気持ちを行動につなげる能力や態度を育成する。</li> <li>(3) 新しい生活様式を定着させ、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。</li> </ol> </li> <li>5 <b>広報活動の充実と家庭・地域との連携強化</b> <p>専門学科や進路、部活動等の取組を中心とする中学生目線を基にした積極的な広報に努め、本校の魅力を発信、アピールする。</p> </li> <li>6 <b>職場改革の推進</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員それぞれが職務にやり甲斐を感じ、Well-beingの実現が図れるよう職場環境の改善を図る。</li> <li>(2) DXの推進等を通じた働き方改革により、生徒と向き合える時間を確保するとともに、学校職員としての資質向上に努める。</li> <li>(3) 職員がお互いを慮り合いストレスの軽減に務めるとともに、業務の共有・協働・分担、分掌等の枠にこだわらないOJT、スキルの伝承を推進する。</li> </ol> </li> </ol>